

関係各位

一般社団法人 東京精神科病院協会

会長／心のアート展実行委員会 委員長 平川 淳一

東京精神科病院協会主催 第9回 心のアート展
「パッションー受難と受苦と情念とー」
開催のご案内

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、一般社団法人東京精神科病院協会（以下、東精協）は、下記のとおり、第9回 心のアート展「パッションー受難と受苦と情念とー」を開催いたします。

本アート展は、東精協会員 60 病院に入院・通院する（していた）方々の作品を対象とした公募展です。心の病を抱える人々が、日々の創作活動を通じて自分自身を癒し支えていく。そのような切実な表現活動から生まれた作品に出逢える場を創りたいという趣旨に基づき、2009 年より継続して参りました。

第1回展を開催して以来、幸いにも多くの方々からのご好評を賜り、今回で9回目の開催となります。今回は東精協会員 20 病院から計 479 作品の応募があり、審査を通過した 215 作品を会場に展示いたします。

第1回展が開催されてから 16 年。世界は激動を続けています。終わりの見えない戦争や紛争、世界を混乱におとしいれた疫病の流行、気候変動や異常気象、人々を分断する憎悪表現やフェイクニュースの氾濫など、何を頼り信じれば良いのかも分からない、不安で困難な日常が続いています。こうした状況だからこそ、私たちは改めて自分自身の心と向き合い、深く対話する必要があるのかもしれません。アートなるものが存在することの意味も、そこにあるのではないのでしょうか。

「心のアート展」は、「“心を病む”とはどのようなことか?」「“心を病ませる社会”とは何か?」「“表現する”とはどういうことか?」を、皆様と共に悩み、共に考える場でありたいと願っております。万障お繰り合わせのうえご高覧いただきますよう、宜しく願い申し上げます。

第9回 心のアート展「パッションー受難と受苦と情念とー」

- 開催日時：2025 年 6 月 26 日（木）～6 月 29 日（日） 10 時～19 時（最終日は 17 時まで）
- 会場：三鷹市芸術文化センター地下 1 階 [第 4 展示室]（東京都三鷹市上連雀 6 - 12 - 14）
- 心のアート展ホームページ：<https://kokoronoart.toseikyo.or.jp/>
- 問い合わせ：一般社団法人東京精神科病院協会 事務局（担当：若槻） TEL 042 - 352 - 0541